

眼科患者定点マニュアル

2023年5月

東京都健康安全研究センター
健康危機管理情報課
(東京都感染症情報センター)

眼科定点医療機関の報告手順

報告内容

貴医療機関で診断した急性出血性結膜炎および流行性角結膜炎の患者数を年齢別、男女別に集計してください。

報告基準は、2、3ページを参照してください。

報告単位

月曜日から日曜日までの1週間を単位とします。

報告時期及び方法

当該週の最終日の診療が終了しましたら、以下のいずれかの方法で管轄保健所へ報告してください。

- (1) 感染症サーベイランスシステムへの直接入力
- (2) 管轄保健所へのFAXによる報告

4ページの報告用紙に記入してください。記入例を5ページに示してあります。

留意事項

「未報告」と区別するため、当該患者がいない週も、必ず報告してください。

情報の集計及び還元

定点医療機関からのデータは、保健所を通じて、都及び国に報告されます。

集計結果は東京都感染症情報センターおよび国立感染症研究所感染症疫学センターの下記のホームページで公表され、定点医療機関にも還元されます。

- 東京都感染症情報センター <https://idsc.tmiph.metro.tokyo.lg.jp/>
- 国立感染症研究所感染症疫学センター <https://www.niid.go.jp/niid/ja/idwr.html>

1 急性出血性結膜炎

(1) 定義

エンテロウイルス70型及びコクサッキーウイルスA24変異型の感染によって起こる急性結膜炎である。

(2) 臨床的特徴

潜伏期は1日で強い眼の痛み、異物感で始まり、結膜の充血、特に結膜下出血を伴うことが多い。眼瞼の腫脹、眼脂、結膜浮腫、角膜表層のび慢性混濁などがみられ眼痛、異物感がある。約1週間続いて治癒することが多いが、この疾患に罹患したのち6～12か月後に四肢の運動麻痺を来すことがある。

(3) 届出基準

ア 患者（確定例）

指定届出機関の管理者は、当該指定届出機関の医師が、(2)の臨床的特徴を有する者を診察した結果、症状や所見から急性出血性結膜炎が疑われ、かつ、(4)により、急性出血性結膜炎患者と診断した場合には、法第14条第2項の規定による届出を週単位で、翌週の月曜日に届け出なければならない。

イ 感染症死亡者の死体

指定届出機関の管理者は、当該指定届出機関の医師が、(2)の臨床的特徴を有する死体を検察した結果、症状や所見から、急性出血性結膜炎が疑われ、かつ、(4)により、急性出血性結膜炎により死亡したと判断した場合には、法第14条第2項の規定による届出を週単位で、翌週の月曜日に届け出なければならない。

(4) 届出のために必要な臨床症状（下記のうち2つ以上）

ア	急性濾胞性結膜炎
イ	眼脂、眼痛、異物感などを伴う眼瞼腫脹
ウ	結膜下出血

2 流行性角結膜炎

(1) 定義

アデノウイルス 8、19、37、4 型などによる眼感染症である。

(2) 臨床的特徴

約 1～2 週間の潜伏期の後、急性濾胞性結膜炎の臨床症状を示して発病する。結膜の浮腫や充血、眼瞼浮腫が強く、流涙や眼脂を伴う。耳前リンパ節の腫脹と圧痛を来す。角膜にはび慢性表層角膜症がみられ、異物感、眼痛を訴えることがある。偽膜を伴うことも多い。発病後 2～3 週間で治癒することが多い。

(3) 届出基準

ア 患者（確定例）

指定届出機関の管理者は、当該指定届出機関の医師が、(2) の臨床的特徴を有する者を診察した結果、症状や所見から流行性角結膜炎が疑われ、かつ、(4) により、流行性角結膜炎患者と診断した場合には、法第 14 条第 2 項の規定による届出を週単位で、翌週の月曜日に届け出なければならない。

イ 感染症死亡者の死体

指定届出機関の管理者は、当該指定届出機関の医師が、(2) の臨床的特徴を有する死体を検案した結果、症状や所見から、流行性角結膜炎が疑われ、かつ、(4) により、流行性角結膜炎により死亡したと判断した場合には、法第 14 条第 2 項の規定による届出を週単位で、翌週の月曜日に届け出なければならない。

(4) 届出のために必要な臨床症状（下記のうち 2 つ以上）

ア	重症な急性濾胞性結膜炎
イ	角膜点状上皮混濁
ウ	耳前リンパ節腫脹・圧痛

感染症発生動向調査（眼科定点）

週報

調査期間 令和 年 月 日 ~ 年 月 日

医療機関名: _____

		0~5 カ月	6~11 カ月	1歳	2	3	4	5	6	7	8	9	10~ 14	15~ 19	20~ 29	30~ 39	40~ 49	50~ 59	60~ 69	70歳 以上	合計		
急性出血性 結膜炎	男																						
	女																						
流行性 角結膜炎	男																						
	女																						

定点医療機関 からのコメント	
-------------------	--

記入例1

別記様式4

感染症発生動向調査（眼科定点）

週報

調査期間 **令和5年4月10日** ~ **5年4月16日**

医療機関名: **△△クリニック**

		0~5 カ月	6~11 カ月	1歳	2	3	4	5	6	7	8	9	10~ 14	15~ 19	20~ 29	30~ 39	40~ 49	50~ 59	60~ 69	70歳 以上	合計	
急性出血性 結膜炎	男					1		1													2	
	女								1													1
流行性 角結膜炎	男																					0
	女						1															1

定点医療機関 からのコメント	
-------------------	--

記入例2

		0~5 カ月	6~11 カ月	1歳	2	3	4	5	6	7	8	9	10~ 14	15~ 19	20~ 29	30~ 39	40~ 49	50~ 59	60~ 69	70歳 以上	合計	
急性出血性 結膜炎	男																					
	女																					
流行性 角結膜炎	男																					
	女																					

定点医療機関 からのコメント	
-------------------	--